

福德岡ノ場の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

3日に福德岡ノ場で海底噴火が発生しました。その後の観測でも、福德岡ノ場付近の海域で変色水が確認されています。

福德岡ノ場では今後も海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

第三管区海上保安本部によると、2月3日07時45分頃、福德岡ノ場で爆発音とともに白色の噴煙が上がっているのが確認されました。また、同日10時頃に灰色の噴煙が上がっているのが確認された他、14時27分頃に灰色の噴煙が約100m上がっているのが観測されました。噴火地点の周辺海域では変色水と浮遊物が確認されました。

海上保安庁による4日の観測では、噴煙は確認されませんでした。黄褐色、茶褐色、褐色及び乳白色の変色水が確認されました。また、変色水域では熱水の上昇がみられ、上昇に伴う軽石も噴出していました。

12日に海上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、変色水は2ヶ所から湧出していました。湧出域では気泡が確認されましたが、噴気や浮遊物は認められませんでした。また、赤外熱映像装置により海水面の表面温度を測定したところ、湧出域では周りの海水よりわずかに高い温度を示したことから、周囲の海水より温度の高い熱水が湧出していると考えられます。

その後、13、17日の第三管区海上保安本部及び25日の海上保安庁により実施された観測でも引き続き変色水が確認されています。

福德岡ノ場ではこれまでもしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2005年7月2日から3日にかけても海底噴火が発生しています。



図1 福德岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福德岡ノ場の位置

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 3 月分）は平成 22 年 4 月 8 日に発表する予定です。

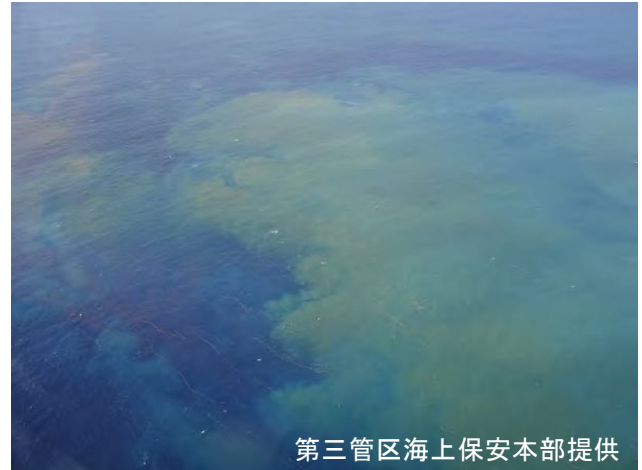
資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

※この記号の資料は気象庁のほか、海上保安庁のデータも利用して作成しています。



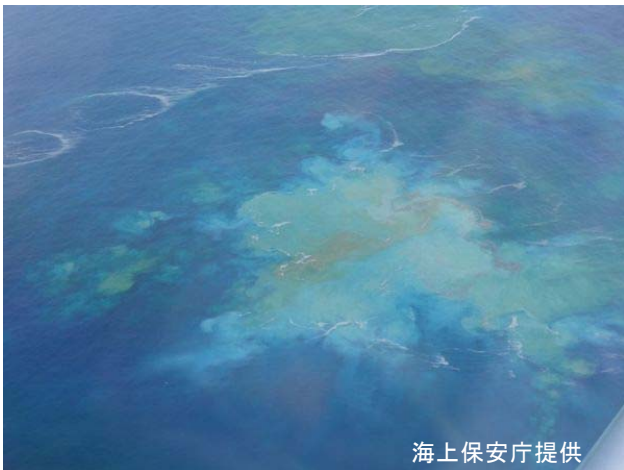
第三管区海上保安本部提供

写真 1 2月3日 14時 27分頃撮影
灰色の噴煙が約 100m 上がっている。



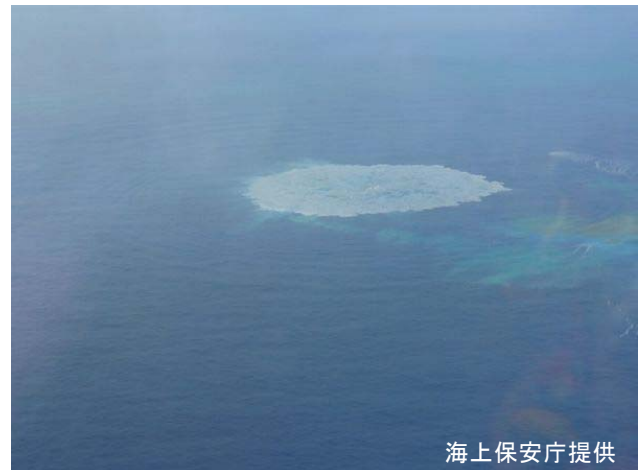
第三管区海上保安本部提供

写真 2 2月3日 14時 27分頃撮影
黄褐色の変色水と浮遊物



海上保安庁提供

写真 3 2月4日 12時 58分頃撮影
黄褐色、茶褐色、褐色及び乳白色の変色水



海上保安庁提供

写真 4 2月4日 13時 51分頃撮影
蓮状に広がる灰色の変色水



第三管区海上保安本部提供

写真 5 2月5日 13時 22分頃撮影
灰色の変色水と水蒸気を伴う浮遊物



第三管区海上保安本部提供

写真 6 2月5日 13時 14分頃撮影
乳白色、黄褐色の変色水と浮遊物

図 1※ 福徳岡ノ場 噴火及び変色水等の状況

写真 1、写真 2	: 2月3日	第三管区海上保安本部提供
写真 3、写真 4	: 2月4日	海上保安庁提供
写真 5、写真 6	: 2月5日	第三管区海上保安本部提供

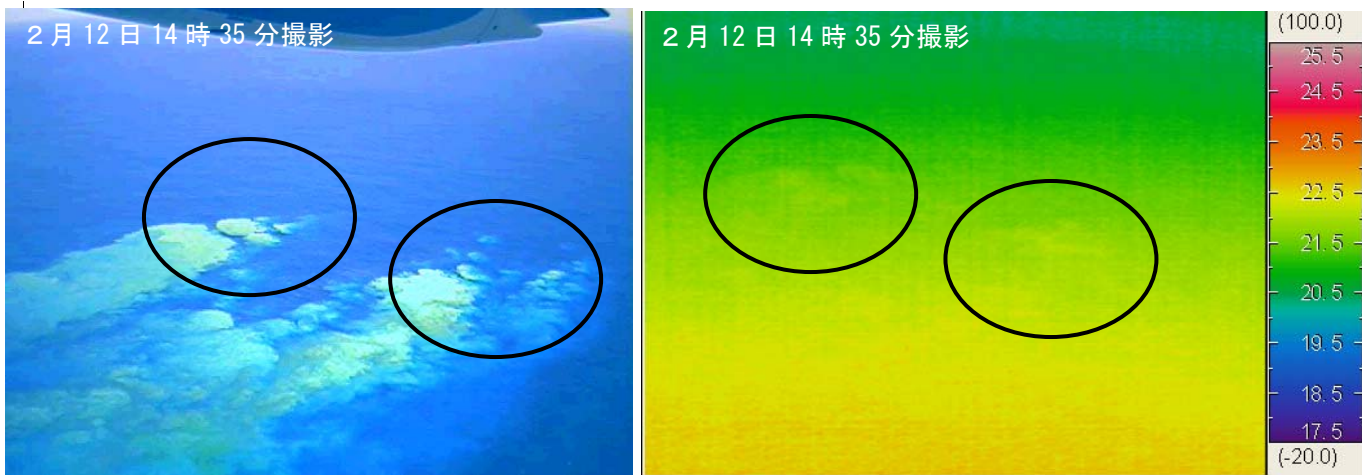


図 2 福徳岡ノ場 変色水湧出地点の可視画像と表面温度分布¹⁾（2月12日、海上自衛隊の協力による）
湧出域では周りの海水温と比較してわずかに高い温度を示しています（○の領域）。

1) 赤外熱映像装置にて撮影しています。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



写真 7 2月12日14時41分撮影
乳白色の変色水



写真 8 2月12日14時41分撮影
変色水の湧出地点

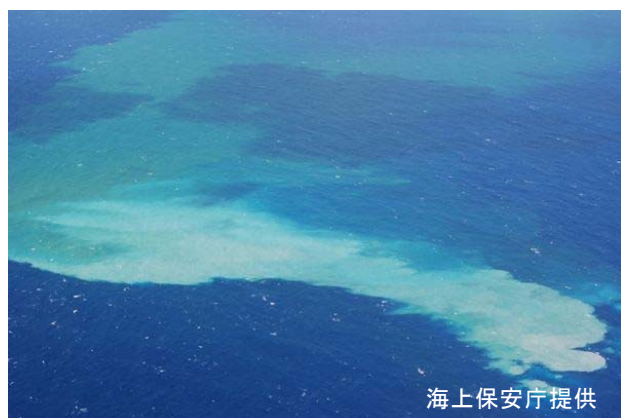


写真 9 乳白色の変色水

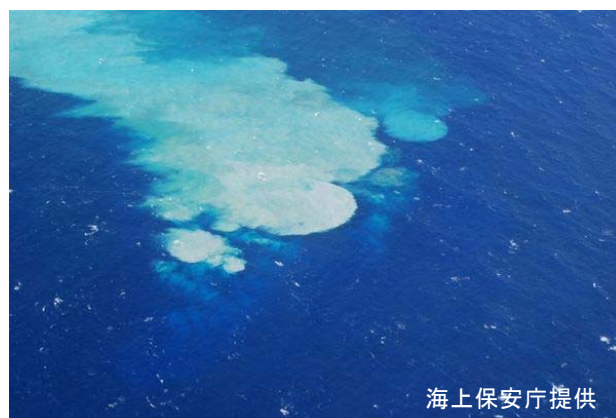


写真 10 変色水の湧出地点

図 3※ 福徳岡ノ場 変色水の状況

写真 7、写真 8 : 2月12日 海上自衛隊の協力による
写真 9、写真 10 : 2月25日 海上保安庁提供